【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成25年1月31日(2013.1.31)

【公開番号】特開2011-55513(P2011-55513A)
【公開日】平成23年3月17日(2011.3.17)
【年通号数】公開・登録公報2011-011
【出願番号】特願2010-220056(P2010-220056)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　7/173　(2011.01)
Ｈ０４Ｎ　5/765　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/91　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/173　６３０
Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｌ
Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成23年5月31日(2011.5.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コンテントプロバイダによってメディアデータをセットトップボックスに供給する方法において、
前記コンテントプロバイダによって、メディアコンテント及びメディアメタデータを有するメディアデータを選択するステップと；
前記選択の後に、前記セットトップボックス上で前記メディアコンテントを自動的に組み立てて記憶するための前記メディアデータを、前記セットトップボックスに無線放送するステップとを含み、
前記メディアメタデータが、前記メディアコンテントを前記セットトップボックスから自動的に消去する終了日を含むことを特徴とする方法。
【請求項２】
請求項１に記載の方法において、前記メディアデータを無線放送するステップが、
前記メディアコンテントを無線放送することと；
前記メディアコンテントを放送した後に、前記終了日を別個の放送で無線放送することと
を含むことを特徴とする方法。
【請求項３】
請求項２に記載の方法において、前記終了日を、前記メディアコンテントの契約開始日時、及び契約終了日時を有するインターステイシャルデータの一部として無線放送することを特徴とする方法。
【請求項４】
請求項１に記載の方法において、前記メディアコンテントを復号化するための暗号化鍵を、有線接続を介して前記セットトップボックスに伝送するステップをさらに含むことを特徴とする方法。
【請求項５】

セットトップボックス内でメディアデータを管理する方法において、
コンテントプロバイダによって選択されて無線放送される前記メディアデータを、前記セットトップボックスを用いて、無線放送を介して受信するステップであって、前記メディアデータがメディアコンテント及びメディアメタデータを有するステップと；
前記セットトップボックス上で、前記メディアデータを組み立てて記憶するステップであって、前記メディアメタデータが、前記メディアコンテントを前記セットトップボックスから自動的に消去する終了日を含むステップと；
前記終了日に、前記メディアコンテントを前記セットトップボックスから自動的に消去するステップと
を含むことを特徴とする方法。
【請求項６】
請求項５に記載の方法において、前記メディアデータを受信するステップが、
前記メディアコンテントを、第１無線放送を介して受信することと；
前記第１無線放送の後に、前記第１無線放送とは別個の第２無線放送において前記終了日を受信することと
を含むことを特徴とする方法。
【請求項７】
請求項６に記載の方法において、前記終了日を、契約開始日時及び契約終了日時を有するインターステイシャルデータの一部として、前記第２放送中に受信することを特徴とする方法。
【請求項８】
請求項５に記載の方法において、前記メディアコンテントを復号化するための暗号鍵を、有線接続を介して受信するステップをさらに含むことを特徴とする方法。
【請求項９】
メディアデータをセットトップボックスに提供するコンテントプロバイダシステムにおいて、
コンテントプロバイダによって、メディアコンテント及びメディアメタデータを有する前記メディアメタデータを選択した後に、前記セットトップボックス上で自動的に組み立てて記憶するための前記メディアデータを、前記セットトップボックスに無線放送するように構成された無線放送送信機を具え、
前記メディアメタデータが、前記メディアコンテントを前記セットトップボックスから自動的に消去する終了日を含むことを特徴とするコンテントプロバイダシステム。
【請求項１０】
請求項９に記載のコンテントプロバイダシステムにおいて、
前記メディアデータを無線放送することが、
前記メディアコンテントを無線放送することと；
前記メディアコンテントを無線放送した後に、前記終了日を別個の放送で無線放送することを含むことを特徴とするコンテントプロバイダシステム。
【請求項１１】
請求項１０に記載のコンテントプロバイダシステムにおいて、
前記終了日を、前記メディアコンテントの契約開始日時、及び契約終了日時を有するインターステイシャルデータの一部として無線放送することを特徴とするコンテントプロバイダシステム。
【請求項１２】
請求項９に記載のコンテントプロバイダシステムにおいて、
前記メディアコンテントを復号化するための暗号化鍵を、有線接続を介して前記セットトップボックスに伝送することを特徴とするコンテントプロバイダシステム。
【請求項１３】
メディアデータを管理するためのセットトップボックスにおいて、
メモリと；

プロセッサとを具え、このプロセッサが、
コンテントプロバイダによって選択されて無線放送され、メディアコンテント及びメディアメタデータを有する前記メディアデータを、無線放送を介して受信し；
前記メモリにおいて、前記メディアコンテントを前記セットトップボックスから自動的に消去する終了日を含む前記メディアデータを組み立てて記憶し、
前記終了日に、前記メディアコンテントを前記セットトップボックスから自動的に消去する
ように構成されていることを特徴とするセットトップボックス。
【請求項１４】
請求項１３に記載のセットトップボックスにおいて、前記メディアデータを受信することが、
前記メディアコンテントを、第１無線放送を介して受信することと；
前記第１無線放送の後に、前記第１無線放送とは別個の第２無線放送において前記終了日を受信することと
を含むことを特徴とするセットトップボックス。
【請求項１５】
請求項１４に記載のセットトップボックスにおいて、前記終了日を、契約開始日時及び契約終了日時を有するインタースティシャルデータの一部として、前記第２放送中に受信することを特徴とするセットトップボックス。
【請求項１６】
請求項１３に記載のセットトップボックスにおいて、前記プロセッサがさらに、前記メディアコンテントを復号化するための暗号鍵を、有線接続を介して受信するように構成されていることを特徴とするセットトップボックス。